

平成 22年 12月 28日

環境・生命工学専攻		紹介教員氏名	大 貝 彰
申請者氏名	江 本 晃 美		

## 論 文 要 旨(博士)

論文題目	地方都市中心市街地における景観を中心とした街路空間整備のあり方に関する研究
------	---------------------------------------

(要旨 1,200字程度)

近年、都市部においては単なる商業的な活性化のみでなく蓄積された都市機能やサービスの活用できる都市のあり方が模索されている。空間的な集中を基に、効率的で多様性のあるまちを目指すことにより、安心安全でコンパクトなまちとして、コンパクトシティや歩いて暮らせるまちづくりが進められている。このような施策を基に、街路空間において歩行性の向上や景観の充実を進めていく必要があるが、歩道部から沿道部の民有地までを含めて、総合的に施策を検討したものは少ない。以上より、地方都市の中心市街地における街路空間整備の在り方とその整備推進方策に対する示唆を得ることを目的とする。

まず第2章において、整備の推進、景観の取組に深く関わる沿道部の土地・建物所有者による住民参加の促進を念頭に、街路空間整備の推進方策を考察するための基礎的な状況把握として、豊橋市を対象に土地利用と所有状況を把握し、所有者の意識を明らかにした。これより街路空間の整備推進のうち民有地における推進を促す方策に関して示唆を得た。

次に、利用者による課題路空間整備の現状把握と課題を探り、実際の整備における整備方針に関する示唆を得る。まず第3章で、主に利用者（歩行者）の視点での景観と安全性の両面から整備の課題を明らかにした。同じく愛知県豊橋市を対象に、景観形成地区の街路空間について評価を行い、景観と安全性の両面から整備の指針と歩行空間における整備の課題を考察し、街路全体での整備の方向性と個々の要素における留意点を述べた。第4章では、利用者（住民）の視点から整備課題を探った。東海3県の景観形成地区を対象に、景観形成のための整備のうち、同時に安全性の確保が要求される公共空間部分に着目して整備の影響を景観と安全性の面から考察している。対象地区について整備の内容を把握し、整備による影響を地区住民へのヒアリング調査から公共空間の整備が街並み景観と利用住民にとっての安全性に与える影響から整備検討における課題を考察し、街路空間における公共空間での整備についての留意点をまとめた。以上の二章から明らかになった課題を基に、景観と安全性両立のための街路空間整備の指針とした。

第5章では、整備の推進方策のうち景観まちづくりの取組方法から考察する。東海3県の景観条例、協定、要綱による景観形成地区を対象に、景観条例制度と景観まちづくりの実態について、資料収集から制度内容と整備実態を明らかにした。そして、整備の進捗状況と整備内容を考慮して6地区を選定し、行政へヒアリング調査を行い景観まちづくり取組の内容と課題を明らかにした事項より、整備推進の方策としての景観まちづくり取組において、進捗状況の段階別の課題と傾向を考察し、取組推進のための示唆を得た。

第6章では、各章で明らかになった課題や指針を整理し、街路空間整備の方向性に関する分析・考察を行い、整備の在り方の示唆とした。また、最終章にて今後の課題を述べる。